



Access

- J R 総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分
- 地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅下車（A1番出口）、徒歩約5分
丸の内線「四谷三丁目」駅下車（1番出口）、徒歩約15分
半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車（0番出口）、徒歩約15分
- バス 新宿駅西口・品川車庫前（品97）「信濃町駅前（慶應病院前）」下車
早大正門・渋谷駅東口（早81）「四谷第六小学校入口」下車



慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel.03-5363-3249
e-mail:med-srk-center@adst.keio.ac.jp
<http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/>



慶應義塾大学病院

初期臨床研修プログラム 2026

慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療を行います
先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します
豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します
人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

慶應義塾大学病院 臨床研修修了 コンピテンシー

- I. プロフェッショナリズム
- II. 医学知識
- III. 診療の実践
- IV. コミュニケーション
- V. 医療・福祉への貢献
- VI. 科学的探究
- VII. 国際医療人としての資質
- VIII. 医療安全と医療の質
- IX. チーム医療

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を目指そう

プログラム総責任者 病院長 松本 守雄

慶應義塾大学病院（慶應病院）は2022年5月に約10年かけて行ってきた新病院棟の建設事業を完了させ、新しい病院としてグランドオープンいたしました。患者の方々に、より質の高い、より安全な医療を提供するとともに、次の時代を担う医療人を育成する新たな舞台が整っています。

慶應病院は1920年に北里柴三郎博士を初代病院長として開院いたしました。北里博士は「各科の分立を防ぎ、基礎医学と臨床医学の連携を緊密にし、学内は融合して一族の如く、全員で医学の研鑽に努める」ことを方針に掲げました。その後、100年以上にわたり北里博士の精神を脈々と受け継ぎ、今では国内外からも高く評価される病院となりました。現在、慶應病院では31の診療科が互いの垣根を無くし、すべての職種が協力して患者の方々に質の高いチーム医療を提供しています。

慶應病院は特定機能病院として主に高度急性期医療を担っており、がん、免疫、神経、小児周産期、感覚器、運動器など様々な領域の医療を提供するとともに、がんゲノム医療や政府支援によるAIホスピタルモデル病院として先端的な医療にもとり組んでいます。手術・血管造影センター、ICU・HCUからなる集中治療センター、救急センター、

内視鏡センターなどが有機的に連携をしながら、救急患者の受け入れを増やして地域の救急診療体制に貢献するとともに、手術や集中治療などの体制を強化し、大学病院としての高度な医療の提供を推進しています。さらに数多くの関連病院や医療連携協力機関とともに地域医療にも貢献しています。

病院理念に「豊かな人間性と深い知性を有する医療人の育成」掲げており、初期臨床研修医の教育には特に力を入れています。慶應病院はもとより、関連病院、連携医療機関にも教育熱心な指導医が数多く在籍し、チームの一員となった研修医の皆さんに対し親身になって指導に当たってくれています。研修プログラムを通じて医師としての基本的な知識、態度、考え方、医療技術を身につけるだけでなく、将来のキャリアパスにも道を開き、希望に応じて慶應関連の豊富な専攻医プログラムに進む機会にもつながります。

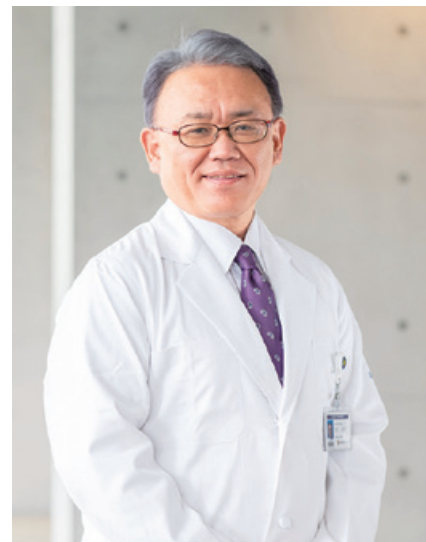
さらに病院理念には「患者さんに優しく、患者さんに信頼される、患者さん中心の医療を行う」ことも掲げています。患者の方々やそのご家族の立場やお気持ちを考えた優しい診療を常に心がけ、医療者と患者・ご家族との間に信頼関係を築き、あら



ゆる職種で構成される医療チームの中心に患者の方々を置き、最善の医療を提供することを目指します。是非、研修医の皆さんにそのチームに加わっていただき、患者に優しい、人間性豊かな医療人を目指して研修に励んでいただけることを願っています。

新病院で、百年の伝統を継承し、熱意ある仲間とともに「明日の医学・医療を担う医師」を目指しましょう !!

卒後臨床研修センター長 門川 俊明



ことですが、3年目以降に自分が進むべき専門科を決めるというキャリア選択も重要な問題だと思います。慶應義塾大学病院には、どの診療科にも多くの専門家がいて、各診療科の全領域をカバーしています。自分が将来進みたい診療科をじっくり体験できることも大きなメリットでしょう。また、日本トップクラスの医学研究を間近で体験することも大きなメリットだと思います。

2019年に新しい病院がオープンして、ハードウェアとしては素晴らしいものになりました。2024年よりセンター長として私が着任しました。慶應義塾大学病院の臨床研修プログラムが日本一のプログラムになるよう、病院をあげて、情熱をもって研修医教育をおこなう体制にいたします。是非、多くの優秀な研修医が集まっていたいただきたいと思います。



CONTENTS

- 1 病院の理念
- 2 臨床研修修了コンピテンシー
- 3 病院長メッセージ
- 4 卒後臨床研修センター長メッセージ
- 5 地域-大学循環プログラム
- 6 大学一貫プログラム
- 7 小児科医育成プログラム
- 8 産婦人科医育成プログラム
- 9 広域連携型プログラム
- 10 基礎研究医プログラム
- 11 教育指導体制
- 12 研修レポート
- 13 研修環境・院内施設
- 14 スケジュール・医科研修医募集要項
- 15 歯科・口腔外科プログラム
- 16 歯科・口腔外科研修医募集要項

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

地域 - 大学循環プログラム

2026年度定員 31名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 協力型臨床研修病院と、慶應義塾大学病院で1年間ずつ研修するプログラムです。

1年次に協力型研修病院で研修

1年次	内科(24週)			救急(12週)		外科・小児・産婦・精神 (1～4診療科：各4週)
2年次	地域 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	麻酔科 (4週)	救急科 (4週)	選択（～36週）	

※ローテーションは順不同

○一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○救急部門の研修については、原則、1年次に協力型病院で研修し2年次に慶應義塾大学病院で研修する場合は、1年次に救急科で12週研修し、2年次に救急科および麻酔科で各4週研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。○協力型病院によっては1年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

2年次に協力型研修病院で研修

1年次	内科(24週)		救急(8週)+麻酔(4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択(～40週)	

※ローテーションは順不同

○一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○救急部門の研修については、原則、1年次に慶應義塾大学病院で研修し2年次に協力型病院で研修する場合は、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。○協力型病院によっては2年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 01

【研修医からのメッセージ】

幅広い選択肢の中で真にマッチした研修環境を

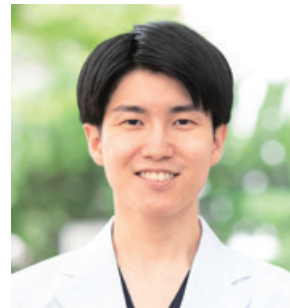
「良い研修先」と一口に言っても、自分にどのような研修が合っているのかを判断するのは難しく、正解も一つではありません。その中で私が本プログラムを選んだ理由は「幅の広さ」にあります。

慶應義塾大学病院は多彩な診療科を有し、豊富な指導医の下で研修を行うことができます。これは、充実した環境で診療を学べるという意味だけでなく、初期研修修了後の進路を考える上でも重要です。様々な先輩医師と働く中で、将来の専門やキャリアプラン、ワークライフバランスなど、幅広い可能性の中で考慮できるのは大きな魅力かと思います。

当プログラムでは、協力型臨床研修病院にて1年間研修を行います。地域や研修体制も様々で、私

のように二つの大学病院で研修を行うというパターンもあります。皆さんが初期研修に何を求めるかによって、30以上の選択肢の中から希望することができます。研修の充実度だけでなく、双方の病院で研修医同期の友人ができるのも私個人としては大きな魅力に感じています。

私自身、学生時代はどのような研修先が良いのかとても悩みましたが、結果として自分に合った研修ができていて実感しております。本パンフレット含め、書面やインターネットでは様々な情報が手に入りますが、実際に目で見て、直接話を聞くに勝るものはないかと思います。是非一度当院にお越しいただき、施設や研修の雰囲気を感じ取ってみてください。



2023年度
地域-大学循環プログラム
齊藤 圭祐
(1年目、東京大学医学部附属病院
2年目、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

協力型臨床研修病院と大学病院の双方で、バランスのよい臨床研修を！

協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院を1年間ずつ研修するプログラムです。市中病院で豊富なCommon Diseaseの診療経験と手技を、また大学病院で高度先進医療の双方をバランスよく習得することができます。当プログラムは30以上の協力型臨床研修病院を擁しており、それぞれの施設が特徴を生かした魅力的な研修プログラムを提供しています。(各病院の研修内容は卒後臨床研修センターのホームページからダウンロードできます。)他の1年間は、慶應義塾大学病院で研

修を行います。大学病院での研修を1年目に選択すれば、基本領域をアカデミックな環境で研修でき、また2年目に選択すれば、最大36週の選択研修期間のなかで、将来の進路を考えながら様々な診療科で研修することができます。いずれの研修でも、経験豊富な指導医から最先端の医学知識と手技を学べます。バランスの良い臨床研修生活を送りたい方はぜひご応募ください。



【プログラム責任者】
卒後臨床研修センター
副センター長
堀 周太郎

TRAINING INSTITUTIONS

2026年度 協力型臨床研修病院一覧と定員

	病 院 名	所 在 地	地域-大学循環 1年次	2年次		病 院 名	所 在 地	地域-大学循環 1年次	2年次
1	太田綜合病院附属太田西ノ内病院	福島県	1	1	20	医療法人財団荻窪病院	東京都	3	3
2	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院	茨城県	2	0	21	日野市立病院	東京都	1	0
3	水戸赤十字病院	茨城県	1	1	22	稲城市立病院	東京都	1	1
4	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	栃木県	1	1	23	国家公務員共済組合連合会 立川病院	東京都	4	0
5	足利赤十字病院	栃木県	2	0	24	横浜市長市民病院	神奈川県	3	0
6	那須赤十字病院	栃木県	0	0	25	一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院	神奈川県	2	0
7	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	2	1	26	川崎市立川崎病院	神奈川県	4	0
8	佐野厚生総合病院	栃木県	0	1	27	川崎市立井田病院	神奈川県	2	0
9	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	群馬県	0	0	28	医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院	神奈川県	2	0
10	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	埼玉県	1	0	29	平塚市民病院	神奈川県	2	2
11	さいたま市立病院	埼玉県	2	0	30	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院	神奈川県	1	0
12	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	埼玉県	0	0	31	神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院	神奈川県	1	0
13	国際医療福祉大学成田病院	千葉県	0	0	32	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院	神奈川県	2	0
14	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	1	0	33	湘南東部総合病院	神奈川県	0	0
15	東京大学医学部附属病院	東京都	1	0	34	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	静岡県	1	1
16	北里大学北里研究所病院	東京都	3	0	35	静岡市立清水病院	静岡県	1	0
17	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	東京都	0	1	36	静岡赤十字病院	静岡県	1	1
18	公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院	東京都	2	0	37	浜松赤十字病院	静岡県	1	0
19	公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	東京都	2	0					

※協力型臨床研修病院（予定） 2025年4月現在。上記から変更となる可能性があります。



OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

大学一貫プログラム

2026年度定員 13名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※ローテーションは順不同						
1年次	内科（24週）			救急（8週）＋麻酔（4週）		外科・小児・産婦・精神 （1～3診療科・各4週）
2年次	地域 （一般外来・在宅を含む：4週）	外科・小児・産婦・精神 （1年次に研修していない診療科：各4週）	救急 （4週）	麻酔 （4週）	選択（～32週）	

※ローテーションは順不同

- 一般外来の研修を行う診療科は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週以上行います。
 - 救急部門の研修については、原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。2年次は救急科、麻酔科それぞれを4週研修します。
 - 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
- ※当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

MESSAGE 02

【研修医からのメッセージ】

医師としての第一歩を慶應義塾大学病院で

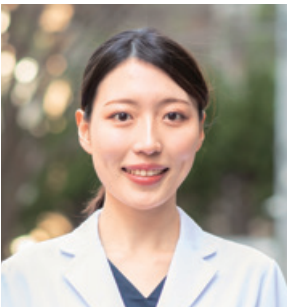
慶應義塾大学病院は最先端の施設・設備はもちろんのこと、患者さんや医療スタッフ、関連病院の数など多岐にわたり全国有数の規模を誇ります。common diseaseだけでなく、大学病院ならではの稀有な症例を臨床・研究の第一線で活躍されている先生方から直接ご指導いただけることは、当院の最大の魅力であると考えます。

私が選択した大学一貫プログラムは、自由選択期間が40週（2026年度からは32週）と長く全ての診療科から選択できるため、自分の目標に沿ったオリジナルのプログラムを組むことができます。様々な診療科を選択した場合は多様な疾患を経験することができ、特定の診療科を長期間選択した場合はその診療科の理解を深めることができます。また、日頃の業務で生じたclinical questionをもとに学

会発表を行う機会にも恵まれています。論文検索やスライド作成の細部に至るまで、教育熱心な先生方から丁寧なご指導を受けることができます。恵まれた環境と自由度の高い研修プログラムの中で、主体性のある研修生活を送ることができるのが、本プログラムの醍醐味です。

さらに同期は全国から集まっており、多種多様な背景や目標を持つ仲間と助け合いながら研修することができます。出身大学の垣根なく仲が良く、お互いに切磋琢磨しながら楽しく充実した日々を過ごしていると実感しています。

研修病院を迷われている方は、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんと一緒に働けることを心より楽しみにしております。



2024年度
大学一貫プログラム
菅 紗有里
（2年間、慶應義塾大学病院）

MESSAGE from CENTER STAFF

最高の環境で、あなたの理想の医師像を見つけよう

将来どんな医師になりたいですか？ 慶應義塾大学病院での2年間の研修は、その答えを見つける最高の機会です。

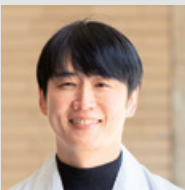
本プログラムの特徴は、研修医一人一人の興味や目標に合わせてプログラムをカスタマイズできる高い自由度にあり、幅広く様々な診療科を経験することが可能です。

各診療科には、その分野を代表する指導医が揃っています。最先端の医療技術や治療法を間近で学べることはもちろん、診療科の垣根を越えた活発なディスカッション、臨床研究、国際交流など、大学病院ならではの知的刺激に満ちた環境があなたを待っています。

救急外来では豊富な症例を経験でき、基本的な診療能力も着実に身につけることができます。

研修医同士の絆も魅力の一つです。全国から集まった意欲的な仲間たちと切磋琢磨しながら、生涯の友情を育むことができます。

さらに、当院での研修は様々なキャリアパスへの扉を開きます。臨床医として、研究者として、あるいはその両方として、あなたの可能性を最大限に広げる機会がここにあります。医師としての第一歩。慶應で共に歩み始めませんか？ 見学はいつでも大歓迎です。あなたとお会いできることを楽しみにしています。



【プログラム責任者】
卒業臨床研修センター
副センター長
本間 康一郎

TRAINING INSTITUTIONS

2026年度 地域医療研修先病院一覧

8 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院

12 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター

15 社会福祉法人仁生社 江戸川メディケア病院

39 社会医療法人 青洲会 青洲会病院

	病院名	所在地		病院名	所在地
1	宗谷医院	北海道	22	医療法人社団 涓泉会 山王リハビリ・クリニック	東京都
2	稚内市立病院	北海道	23	おうちにかえろう。病院	東京都
3	岩手県立千厩病院	岩手県	24	宮田胃腸科皮膚科クリニック	東京都
4	一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院	岩手県	25	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック品川	東京都
5	医療法人社団帰厚堂 南昌病院	岩手県	26	医療法人社団悠翔会 くらしケアクリニック城東	東京都
6	新潟県厚生農業協同組合連合会 小千谷総合病院	新潟県	27	医療法人社団悠翔会 悠翔会くらしケアクリニック練馬	東京都
7	医療法人賛永会 さつきホームクリニック	栃木県	28	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック新宿	東京都
8	公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院	群馬県	29	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所うえの	東京都
9	医療法人 明医研ハーモニークリニック	埼玉県	30	キラリこどもクリニック	東京都
10	医療法人慶聴会 矢澤クリニック北本	埼玉県	31	医療法人社団淳友会 わたクリニック	東京都
11	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック川口	埼玉県	32	野村皮膚科医院	神奈川県
12	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	千葉県	33	関野小児科内科クリニック	神奈川県
13	医療法人社団ほっ きたなら駅上ほっとクリニック	千葉県	34	医療法人社団Matera 丸山クリニック	神奈川県
14	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック柏	千葉県	35	医療法人社団健育会西伊豆健育会病院	静岡県
15	社会福祉法人仁生社 江戸川メディケア病院	東京都	36	医療法人ゆうの森 たんぼクリニック	愛媛県
16	医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック	東京都	37	医療法人ゆうの森 たんぼば伐津診療所	愛媛県
17	医療法人慶聴会 矢澤クリニック渋谷	東京都	38	国民健康保険 平戸市民病院	長崎県
18	医療法人社団友仁会 赤坂見附前田病院	東京都	39	社会医療法人 青洲会 青洲会病院	長崎県
19	社会医療法人河北医療財団天本病院	東京都	40	医療法人医理会 柿添病院	長崎県
20	岡崎クリニック	東京都	41	医療法人医理会 柿添病院中野診療所	長崎県
21	医療法人社団楓の風 在宅療養支援クリニックかえでの風	東京都	42	平戸市立生月病院	長崎県

※地域医療研修先（予定）2025年4月現在。上記から変更となる可能性があります。

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

小児科医育成プログラム

2026年度定員 2名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修する、小児科医を目指す人のためのプログラムです。



○麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします（本プログラムについては、更に麻酔科を+4週としています）。

○一般外来 一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週間以上行います。

○病院長から特別な許可を得て、合計最大で3か月まで大学以外の施設（東京都小児総合医療センター、川崎市立川崎病院、さいたま市立病院（小児科、NICU）など）での研修も可能です。

二葉乳児院や島田療育センターの子どもを通じて社会情勢を学ぶ事も可能です。

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。



都立小児総合医療センター

MESSAGE from CENTER STAFF

臨床能力に加えて豊かな人間性や科学的探究心を持つ小児科医を育成します

厚生労働省が定めた医師臨床研修制度の基本理念を基に、将来の小児科医を育成するために子どもに関わる診療科を重点的に研修するために組まれたプログラムです。

当院の小児科・NICUを中心としながら、小児外科・産科、さらには自由選択で連携施設である市中病院の小児科・NICUで研修する事で、子どもに関連する幅広い疾患を経験することが出来ます。

小児科研修のみならず、内科・外科研修・地域医療研修を通じて数多くの患者さんに接し、診療する事で、医師として必要

な基本的臨床能力を身につけるだけでなく、その人格をかん養し、科学的探究心を持ち続けられる人材を育成する事を目指しています。

子どもを治す事に喜びを感じ、自分自身も成長し続けたいと考えている方には最適の環境です。皆様にとって、ロールモデルとなる小児科医とも出会えると思います。是非、慶應義塾大学病院小児科医育成プログラムに入り共に学んでいきましょう。



【プログラム責任者】
卒後臨床研修センター
有光 威志

MESSAGE 03

【研修医からのメッセージ】

慶應の小児科医育成プログラムで広がる未来への第一歩

慶應義塾大学病院の小児科では複合・血液・心臓・PICU・精神保健・NICUと幅広い専門分野を持ち、最先端の治療をしています。小児科研修はいずれかの班を希望して研修でき、とくに小児科医育成プログラムは1年次の4・5月に2ヶ月間小児科を研修できるため、研修医生活の最初に将来像が明確になり、2年間の研修医生活で意識すべきことなど指導医や専攻医の先生方から具体的なアドバイスをいただきました。また2年次の選択期間には関連病院で小児科をローテートでき、大学病院では専門性の高い疾患だけでなく、市中病院

のcommon diseaseを経験できることも小児科医育成プログラムを選んだポイントです。地域実習では、小児の在宅医療行っているあおぞら診療所で研修できることも慶應の初期研修の魅力でした。ここには尊敬できる先生方や切磋琢磨できる仲間が多く、医師としてだけでなく、人としても成長できる環境が整っています。皆さんと一緒に慶應で研修しましょう！



2024年度
小児科医育成プログラム
柴田 みどり
(2年間、慶應義塾大学病院)

産婦人科医育成プログラム

2026年度定員 2名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修する、産婦人科医を目指す人のためのプログラムです。



○麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。

○一般外来 一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週間以上行います。

○小児科研修を新生児救急としてNICU研修とすることも可能です。

○産婦人科研修期間中に限り、産婦人科当直研修をすることが可能です。

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

MESSAGE from CENTER STAFF

産婦人科以外の診療科ローテートにこそ初期研修の意義

本プログラムは、原則、産婦人科医を志望する方向けにプログラムを組んでいます。

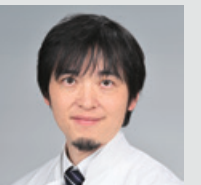
産婦人科の診療内容は多岐にわたります。妊娠、出産、不妊治療～悪性腫瘍の手術、化学療法まで、と内科的、外科的に側面を持ち合わせています。それ故、様々な関連診療科との連携が重要です。

実は、産婦人科以上に、そういった関連診療科をローテートすることが重要であり、選択期間を長く設定しています。

初期臨床は関連診療科側から産婦人科の姿を見られる良

い機会でありまして、指導医も志望をわかっている中で、「産婦人科医になるなら知っておいたほうがいいポイント」に絞った指導も望めます。より効率的な2年間になりますので、志望が決まっている方には特にオススメです。

また産婦人科一択でなく、他の診療科に進んだとしても、産婦人科的な視点、また女性を診療するということの基本が身につくというメリットがあります。志望によらず、女性のミカタになりたい方、お待ちしております！



【プログラム副責任者】
卒後臨床研修センター
野上 侑哉

MESSAGE 04

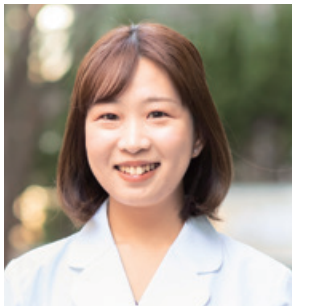
【研修医からのメッセージ】

2年間という大切な研修期間を素敵な病院で過ごしませんか

慶應義塾大学病院はcommon diseaseから最先端の医療まで幅広く学べる環境があります。また1年次から救急外来当直があり、基本的な診療や手技を実践できる場が多くあります。産婦人科医育成プログラムでは、他のプログラムよりも長い期間産婦人科で研修することができるため、妊娠や出産から婦人科手術まで様々な症例を学ぶことができます。産婦人科当直や関連病院の産婦人科研修を経験できる点も魅力的です。

私は元々産婦人科に興味がありましたが、学生のときにコロナ禍で十分に実習できなかったため、

産婦人科だけでなく他科の選択期間も長い当プログラムを選択しました。研修環境は科によって様々ですが、先生方は優しく熱心に指導してくださるため、日々楽しく学んでいます。2年間の研修期間は診療科を決めるだけでなく、先生方や患者さんを通してたくさんのことを学び、今後の医師像を築く大切な期間だと思います。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。



2024年度
産婦人科医育成プログラム
松原 萌音
(2年間、慶應義塾大学病院)

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

広域連携型プログラム

2026年度定員 4名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください

▶▶▶ 慶應義塾大学病院を拠点としながら、医師少数県に所在する連携病院での研修を組み合わせ、複数の医療現場での経験を通じて多角的な視点を養うプログラムです。

広域連携型プログラム1 北見赤十字病院

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (～40週) 【連携先病院での研修期間24週を含む】	

1年次：慶應義塾大学病院、2年次：北見赤十字病院で研修を行います。

○救急部門の研修については、原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。

○一般外来の研修を行う診療科は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療でも行います。（4週以上）

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

※当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

広域連携型プログラム2 諏訪中央病院

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (～40週) 【連携先病院での研修期間24週を含む】	

1年次：慶應義塾大学病院、2年次：半年間を諏訪中央病院にて研修し、残りの半年間を慶應義塾大学病院にて研修します。

諏訪中央病院での研修時期（前期にあたる4月～9月または後期にあたる10月～3月のいずれを選択するか）については、前年度に施設との調整のうえ決定します。

○救急部門の研修については、原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修します。

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

○2年次の必修研修（【地域医療研修（一般外来・在宅医療研修含む）（4週）】および【外科・小児・産婦・精神の1年次に研修していない診療科での研修（4週）】については、基本的に慶應義塾大学病院にて行います。

※当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

広域連携型プログラム3 宮崎大学医学部附属病院

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1～3診療科：各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅を含む：4週)	外科・小児・産婦・精神 (1年次に研修していない診療科：各4週)	選択 (～40週) 【連携先病院での研修期間24週を含む】	

1年次：慶應義塾大学病院、2年次：（前半：4月～9月）慶應義塾大学病院、（後半：10月～3月）宮崎大学医学部附属病院で研修を行います。

○救急部門の研修については、原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科で研修します。

○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。

○2年次の必修研修のうち、（【地域医療研修（一般外来・在宅医療研修含む）（4週）】は宮崎大学医学部附属病院にて研修を行います。【外科・小児・産婦・精神の1年次に研修していない診療科での研修（4週）】については、慶應義塾大学病院／宮崎大学医学部附属病院 いずれかにおいて研修を行います。

※当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

TRAINING INSTITUTIONS

2026年度 連携病院一覧



MESSAGE from CENTER STAFF

多様な医療現場を経験し、柔軟で足腰の強い医師を目指そう！

広域連携型プログラムは、慶應義塾大学病院を拠点に、北見赤十字病院、諏訪中央病院、宮崎大学医学部附属病院と連携し、医師少数県を含む多様な医療環境での研修を提供します。高度専門医療から地域医療まで幅広く学ぶことで、自分の強みを発見し、将来のキャリアの幅を広げることができます。

本研修では、異なる医療環境への柔軟な対応力や幅広い診療能力を身につけ、医師として重要なスタート地点である研修医時代に、プロフェッショナリズム、チーム医療を支えるコミュ

ニケーション能力とリーダーシップを養います。また、学会発表や研究活動を通して学術的な成長も促していきます。

本プログラムを通じて、多角的な経験を重ね、視野を広げることで、どのような医療現場でも柔軟に対応できる「足腰の強い医師」へと成長できるはずです。ぜひ、積極的に挑戦し、医師としての幅を広げていきましょう。



【プログラム責任者】
卒後臨床研修センター
副センター長
山口 慎太郎

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

基礎研究医プログラム

2026年度定員 2名（予定）

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 臨床研修と基礎研究の両立を可能とする基礎医育成プログラムです。

※ローテーションは順不同			
1年次	内科（24週）		救急（8週）＋麻酔（4週）
	外科・小児・産婦・精神（1～3診療科：各4週）		
2年次	地域（一般外来・在宅医療を含む：4週）	外科・小児・産婦・精神（未研修の診療科：各4週）	選択（～40週） （基礎医学系教室での研修期間を含む）

- 一般外来研修は、内科（総合診療科を含む）、小児科（慶應義塾大学病院でのみ）、外科および地域医療で4週以上行います。
- 原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
- 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
- 2年次の選択研修期間中に、16週以上24週未満の間は基礎医学系教室に所属し研究活動を行います。
- *当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います（4週は調整期間）。

基礎医学系教室での指導分野

1	解剖学
2	生理学
3	薬理学
4	医化学
5	分子生物学
6	衛生学公衆衛生学
7	感染症学
8	病理学
9	微生物学免疫学
10	法医学
11	医療政策・管理学
12	臨床遺伝学・先天異常学
13	細胞組織学
14	脳科学
15	拡張知能医学
16	がん免疫学

MESSAGE 05

【研修医からのメッセージ】

明日の医学をデザインしよう

大学病院の特色としてEvidence-Based Medicine (EBM)の徹底が挙げられますが、慶應義塾大学病院には新たなエビデンスを創出するフロンティア精神を持った医師が数多く在籍しております。基礎研究医プログラムはEBMの最先端とその向こう側へ挑む土壌の整った環境で、医師としての科学的知見に基づいた診療能力と、科学者としての現代医学の枠を超えた生命現象への洞察力の双方を養うプログラムです。

慶應義塾大学病院は最新鋭の診療設備を有し、さらに世界最先端の研究成果を生み出す基礎研究系教室を多数併設することで、本邦における基礎研究医の養成機関として比類なき充実性を誇ります。その創設以来、「基礎臨床一体型医学」を目指し、医療現場と基礎研究系教室の活発な交流のもとに、最新の基礎研究や臨床研究に加えて、基礎研究の成果を臨床応用するトランスレーショナルリサーチや、臨床課題を基礎研究に還元するリバーストランスレーショナルリサーチが日々進行しています。基礎研究医プログラムでは最大半年間を基礎研究に専念することができ、残りの研修期間も各診療科を周りながら研究活動の両立が可能です。医師キャリアの最初期に基礎研究と臨床医学の両者の視点を身につけることは、医学の礎を築いて社会に還元する人材を目指す上で絶好のスタートダッシュとなります。基礎研究医として医学の新たなページを共に描いてみませんか。



2024年度
基礎研究医プログラム
岡野 雄士
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

「診療のできる基礎研究医」を養成し、キャリア形成の幅を広げます

世界的に基礎医学研究の重要性が再認識されている中で、厚生労働省が新たに打ち出したプログラムです。基礎医学研究に意欲がある方を対象に、慶應義塾大学が有する恵まれた環境とリソースを活用して、臨床研修と基礎医学研究の両立を目指します。1年目には各診療科領域の指導医から基本的診療やチーム医療を学ぶと共に、受け持った症例や遭遇した医療上の未解決点を研究課題へと変換する思考法を学びます。また、2年目の選択研修期間のうちの一定期間（16週～24週）

基礎医学系教室に所属して医学研究を行うことができます。このプログラムでは臨床研修の到達目標を達成しながら「診療のできる基礎研究医」を養成しますので、社会からのニーズに応えるだけでなくあなたのキャリア形成の幅を大きく広げることにつながります。慶應義塾大学医学部では、様々な研究領域の最先端を走る研究者が指導者となり、この新たなプログラムの目的の達成に最適な環境を提供できますので、是非挑戦してみてください。お待ちしております。



【プログラム責任者】
卒後臨床研修センター
平橋 淳一

教育指導体制 STYLE of TRAINING

熱心な指導医のもと、チーム医療の一員となり、手技や知識を習得します。

信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

信濃町メディアセンターは、医学関連分野の専門図書館として国内屈指の蔵書数・電子ジャーナル点数を誇るだけでなく、総合大学の強みを活かし、幅広い分野の文献にも容易にアクセスできる点が魅力です。土日も開館しており、館内にはグループ利用も可能な「マナビバ」や静かな学習席、オンライン授業／会議優先席の「eラーニングルーム」など、多様な学習スペースをご用意しています。学びをさらに深めるための各種講習会や、検索相談にも応じています。



クリニカル・シミュレーション・ラボ

2003年8月に第1クリニカル・シミュレーション・ラボを東校舎に開設し、2023年6月に第2クリニカル・シミュレーション・ラボを病院2号館10階に開設しました。研修医はもちろん、医学部生、看護医療学部生、看護師その他メディカル・スタッフの方が随時トレーニングを行えるよう、様々なシミュレーション機器を取りそろえています。また、管理人が常駐し、BLS、二次救命処置等の講習会も開催されています。



ランチョンセミナー

木曜日のランチタイムに、初期研修で必要な教育講演や、研修医による「症例呈示・レクチャー」、連絡会が行われています。対面での講習に加え、オンデマンドでの講習も行われています。

2025年度 ランチョンセミナー（対面）

講義内容例		講義内容例	
1	保険医集団指導	8	研修医による症例呈示・レクチャー
2	インシデントレポートについて	9	適切な輸血を実践するために把握すべき事項
3	研修医による症例呈示・レクチャー	10	病棟で緊急対応が必要な意識障害の診療
4	スムーズな後方連携	11	病棟で緊急対応が必要な腹部疾患
5	輸液管理	12	術前術後の血糖管理
6	抗菌薬の使い方	13	研修医による症例呈示・レクチャー
7	人工呼吸器のイロハ		



国家公務員共済組合連合会

立川病院

(東京都 立川市)



【協力型病院からのメッセージ】

高度急性期を中心に幅広い知識と臨床経験を身に付ける



立川病院
片井 均 先生

当院は地域医療支援病院、東京都がん診療連携拠点病院、東京都CCUネットワーク、東京都脳卒中急性期医療機関などの高度急性期医療を提供しています。また、東京都災害拠点病院、第二種感染症指定病院、東京都精神科身体合併症医療機関、認知症患者医療センターなど、多くの行政指定を受け、政策的医療をリードしています。

初期研修は、2学年で10名程度の少人数制を採用し、密度の濃い経験を積むことができます。少人数制だからこそ実現できる親密な環境で、各医師が一人ひとりの患者さんと向き合い、丁寧に指導を受けながら成長していけます。経験豊富な指導医と共に多彩な臨床経験を積み重ねることで、自信を持って医師としてのキャリアをスタートさせることができます。患者さん一人ひとりに寄り添い、病状や治療法をじっくりと考え、実践力を高めることで、医師としての基礎を確固たるものに固めることができます。立川病院での研修を通じて、医師としての成長を実感していただけると確信しています。病院の理念である「質の高い、思いやりのある医療の実践」を共に行う研修医の加入を楽しみにしています。

で、医師としての基礎を確固たるものに固めることができます。立川病院での研修を通じて、医師としての成長を実感していただけると確信しています。病院の理念である「質の高い、思いやりのある医療の実践」を共に行う研修医の加入を楽しみにしています。



医療法人医理会

柿添病院

(長崎県 平戸市)



【地域医療研修病院からのメッセージ】

地域で患者さんに寄り添って医師としての覚醒を体験してみませんか？



柿添病院
副院長・研修担当医
柿添 三郎 先生

当院は長崎県平戸市に1951年に開設され地域の中核病院として診療を行っています。地域医療研修で他に九州医療センター、九州中央病院、横浜市立大学、静岡済生会病院、京都医療センター、西神戸医療センターなどからも研修医が来られます。切磋琢磨しながら地域のCommon diseaseの診断治療(手術も含む)その後のリハビリ在宅復帰など医師としてのA to Zを短い期間ですが、おいしい平戸の新鮮な空気と食事をしみながら研修してみませんか。

しい平戸の新鮮な空気と食事をしみながら研修してみませんか。

当院での研修について

- ・一般外来、副主治医として入院患者診療(末期がん、消耗性疾患の終末期医療の体験)、術前術後患者の管理及び手術助手が経験できます。
- ・訪問診療、リハビリ医療の体験できます。
- ・各種検診(学校検診、乳児検診)の経験できます。
- ・死体検案の体験および検案書の書き方が学べます。
- ・保健所研修を経験できます。
- ・健康増進のための、病院付属のジムがあります。

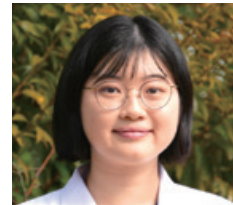
REPORT 01

【協力型病院研修レポート】

診療科や職種を超えて協働で実践する地域医療の経験

私が立川病院を選んだのは、生まれ育った多摩地域の中核病院で急性期診療を学びたいと思ったからです。地域医療連携の仕組みでかかりつけ医から当院へ緊急搬送される患者さんは、時に複雑で難しい病態を呈しています。そのような患者さんに対し、複数の診療科が協力して病態を議論し、適切な急性期治療を実践していく過程を目の当たりにしたことが深く心に残っています。日々の研修では、学びの多い症例や手技のときに声をかけていただいたり、診療の重要な局面と一緒に考えてくださったり、教育的で優しい先生方のもとで研鑽できる素晴らしい研修環境に深く感謝しています。

私が立川病院を選んだのは、生まれ育った多摩地域の中核病院で急性期診療を学びたいと思ったからです。地域医療連携の仕組みでかかりつけ医から当院へ緊急搬送される患者さんは、時に複雑で難しい病態を呈しています。そのような患者さんに対し、複数の診療科が協力して病態を議論し、適切な急性期治療を実践していく過程を目の当たりにしたことが深く心に残っています。日々の研修では、学びの多い症例や手技のときに声をかけていただいたり、診療の重要な局面と一緒に考えてくださったり、教育的で優しい先生方のもとで研鑽できる素晴らしい研修環境に深く感謝しています。



2024年度 地域-大学循環プログラム
錢 映美
(1年目、国家公務員共済組合連合会立川病院
2年目、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

8:30 ~ 9:00 9:00 ~ 10:00 10:00 ~ 12:00 12:00 ~ 13:00 13:00 ~ 15:00

カンファレンス

朝のカンファレンスで前夜の患者さんの状態を確認し診療方針を議論します。

病棟回診

入院患者さんの経過を把握し、診察に回ります。採血やルート確保も行います。

病棟業務・処置

検査や点滴のオーダーをします。CV挿入等の処置を見学したり、自ら行ったりします。

昼食・休憩

研修医室や食堂で昼食・休憩です。月に2回、ランチョンセミナーも開催されます。

緊急入院対応

ERから緊急入院となる患者さんの診察を行い、診断・治療決定まで上級医と一緒に進めます。

15:00 ~ 16:00

チーム医療

多職種が集まり、各自の専門性を活かして患者さんの課題点と改善策を検討します。

16:00 ~ 17:15

合同カンファレンス

研修医や専攻医による症例発表と各分野の専門医を交えた議論が行われます。



教育の立川

総合力をつける立川病院の名物カンファレンス。症例を様々な角度から掘り下げ、深い洞察力を身に付けます。



シミュレーション研修
シミュレーターを用いたトレーニングで、安全性を重視した技術を習得し、自信を持って臨床現場に臨みましょう。

学会発表

教育に情熱を注ぐ頼れる指導医の下で、学会発表にも挑戦し、リサーチマインドを備えた全人的医療を実践する能力を育成します。

REPORT 02

【地域医療研修レポート】

少子高齢化の中での地域医療を学ぶ

柿添病院のある長崎県平戸市は高齢化率が40%の高齢化社会です。医療や介護の需要は大きく、多くの患者さんが外来通院や訪問診療、通所リハなどを利用し生活しています。大学病院とは違い、柿添病院では高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の外来に加え、肺炎などの内科的な入院、胆嚢摘出術や結腸切除などの外科治療、療養型病床での慢性期治療などあらゆる領域をカバーする総合医療を提供しています。少子高齢化が叫ばれる昨今、地域医療の最前線に立つ柿添病院での研修は内科を目指す上で大きな糧となりました。

結腸切除などの外科治療、療養型病床での慢性期治療などあらゆる領域をカバーする総合医療を提供しています。少子高齢化が叫ばれる昨今、地域医療の最前線に立つ柿添病院での研修は内科を目指す上で大きな糧となりました。



2023年度 地域-大学循環プログラム
富田 巖
(1年目、静岡赤十字病院
2年目、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

7:30 ~ 8:00 8:00 ~ 8:30 8:30 ~ 9:00 9:00 ~ 12:00 12:00

病院で朝食

入院患者さんと同じ朝食がです。

創処置

外来で縫合した方などの処置後経過や抜糸などのフォローアップをします

病棟回診

受け持ちの患者さんを回診します。担当医として日々の経過を見ます。

外来

生活習慣病の患者さんの定期処方や、外来リハの診察、健康診断の診察などします。

昼食

医局でお昼休憩です。

13:00 ~ 14:00

病棟業務

病棟の担当患者さんの治療などについて上級医とも相談しながら考え、カルテ記載やオーダーなどします。

14:30 ~ 17:00

手術

週に2回、手術日があり、術野に入ったり麻酔をかけたりします。



院内の様子
外来診察室
待合スペース

周辺環境

平戸市の旧町部に位置し、歴史的にも興味深い場所にあります。



研修風景

小児の頭部外傷処置中です。



FACILITIES 【施設紹介】

病院正門を入ると左側には緑の木立が並びます。図書館や近代的な病棟、最新設備が揃った外来棟。神宮外苑や新宿御苑に囲まれた慶應義塾大学病院は、癒されながら伸び伸び学習可能な研修空間です。

研修環境



研修医寮

病院敷地内に紅梅寮、当院から徒歩10分以内にワンルूमマンションタイプのクレール御苑前とセレスト四谷三丁目の全32部屋（単身者用）の研修医寮があります。寮費は敷地内の寮が22,000円、ワンルूमタイプ（約23㎡）が約6万円です。（応募多数の場合抽選）



外観



エントランス



宅配BOX



キッチン

【入寮者からのメッセージ】

寮は病院から10分程度の徒歩圏内にあります。通勤しやすい一方で程よく病院と離れているためオンオフの切り替えがしやすいです。駅が近くにあるためアクセスも良く、休日に出かける際も便利な立地です。部屋の内装はきれいで、はじめての一人暮らしにも適した環境です。また、寮費の負担が大きくないのも魅力の1つです。都内での生活に不安を抱えている方も安心して住めるおすすめの寮だと思います。2024年度 歯科・口腔外科 岡田 樹人（2年間、慶應義塾大学病院）

※写真はクレール御苑前の紹介です。



信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

メディアセンターは皆さんの診療・研究を支える情報源の宝庫です。伝統ある建屋でくつろぎのひとときを過ごすとともに、いつでもどこでも電子的に論文を入手できる魅力を存分に味わってください。



研修医ラウンジ（1号館2階）

研修医が学習スペースとして、24時間利用することができます。教育研究ネットワークにアクセス可能な無線LANも完備しています。

院内施設



スターバックス

〈1号館1階〉広々としたくつろぎのスペースで、つかの間の休憩を。スタッフ専用のスペースもあります。



カフェ・ド・クリエ

〈2号館2階〉店内は広々しており、こだわりのコーヒーや、季節のフードやスイーツがいただけます。



レストラン ザ・パーク

〈2号館11階〉緑豊かな神宮外苑を一望できる帝国ホテルのレストランです。



ナチュラルローソン

〈1号館2階〉24時間、年中無休



ファミリーマート

〈2号館2階〉24時間、年中無休



信濃町生協

〈病院棟裏〉1階では弁当、菓子、飲物が販売され、イトインスペースが併設されています。2階は書籍売場になっています。

SCHEDULE & INFORMATION 【年間スケジュール&募集要項】

年間スケジュール（2025年度予定）

		学生	研修医1年目	研修医2年目
5月	10日	歯科・口腔外科プログラム説明会	4月	研修医・専修医オリエンテーション、研修医ワークショップ、電子カルテオリエンテーション、CSL実習、点滴調剤研修、スタンダードブリコーション試験等（4月初旬～）
	下旬	基礎研究医プログラム研修医採用試験		
6月	5日	医師マッチング参加登録開始	5月	オープンホスピタル（6月） 専修医説明会
	11日	歯科医師マッチング参加登録開始	6月	
	14日	医科プログラム説明会、オープンホスピタル		
7月	12日	第1回医科研修医採用試験 （地域・大学循環、大学一貫、 小児科医育成、産婦人科医育成、広域連携型）	7月	
	19日	歯科・口腔外科研修医採用試験（1次・2次）		
	26日	歯科・口腔外科研修医採用試験（2次）		
	30日	歯科医師マッチング参加登録締切		
	31日	医師マッチング参加登録締切		
9月	13日	第2回医科研修医採用試験 （地域・大学循環、大学一貫、 小児科医育成、産婦人科医育成、広域連携型）	8月	
10月	8日	歯科医師マッチング希望順位表登録締切	9月	
	9日	医師マッチング希望順位表登録締切	10月	
	22日	歯科医師マッチング結果発表	11月	専修医応募（予定） 専修医採用試験（予定） 専修医採用決定（予定）
	23日	医師マッチング結果発表		
12月		地域・大学循環プログラム研修先決定	12月	研修修了判定（3月上旬）
2月	上旬	歯科医師国家試験（予定）	1月	
		医師国家試験（予定）	2月	
3月	中旬	医師・歯科医師国家試験発表	3月	修了式・懇親会（3月下旬）

医科研修医募集要項

1. 募集人数	地域・大学循環プログラム	協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院にて各1年間	31名
	大学一貫プログラム	慶應義塾大学病院にて2年間	13名
	小児科医育成プログラム	慶應義塾大学病院にて2年間	2名
	産婦人科医育成プログラム	慶應義塾大学病院にて2年間	2名
	広域連携型プログラム	慶應義塾大学病院にて2年間	4名
	基礎研究医プログラム	慶應義塾大学病院にて2年間	2名
2. 待遇	・給与（年額）約360万円（当直料を含む） ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入 ・宿舍有り（全32部屋（原則、抽選により決定）、費用は月額22,000円～61,200円、医科および歯科で共有）（2025年3月現在） ※協力型臨床研修病院においてはその施設の待遇に準ずる。		
3. 選考内容	● 地域・大学循環プログラム、大学一貫プログラム、小児科医育成プログラム、産婦人科医育成プログラム、広域連携型プログラム 卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。		
	● 基礎研究医プログラム 1) 研究内容についてのプレゼンテーション、2) 面接		
4. 選考日および募集期間	● 地域・大学循環プログラム、大学一貫プログラム、小児科医育成プログラム、産婦人科医育成プログラム、広域連携型プログラム 第1回 2025年7月12日（土） 第2回 2025年9月13日（土） ● 基礎研究医プログラム（選考は終了しました。）		
	※受験はどちらか一方のみに限る。		
5. 出願手続き	① 応募方法 卒後臨床研修センターホームページのWebエントリーシステムにアクセスし、必要事項を登録してください。		
	② 応募書類 卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。		
6. 問い合わせ先	慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp ※最新情報は卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください。		
	▶ http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/medicine.html		



OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

歯科・口腔外科プログラム

定員9名

▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※2年次ローテーションは順不同

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	Aグループ	歯科			口腔外科			歯科			口腔外科		
	Bグループ	口腔外科			歯科			口腔外科			歯科		
2年次	Aグループ	歯科				麻酔科				口腔外科			
	Bグループ	口腔外科				歯科				麻酔科			
	Cグループ	麻酔科				口腔外科				歯科			

MESSAGE 10

【研修医からのメッセージ】

幅広くハイレベルな歯科医療を学べる唯一無二の環境

慶應義塾大学病院歯科・口腔外科における2年間の歯科医師臨床研修プログラムは幅広く専門分野を学ぶことができ、歯科医師としての人生の基盤、そして糧となる唯一無二の環境です。1年目には歯科と口腔外科、2年目には麻酔科を加え3科をバランスよく高いレベルで学ぶことができます。歯科では歯周病、補綴、顎関節症や口腔顔面痛の外来を主として矯正、口蓋裂外来など、どの分野においても専門の先生が熱心に指導して下さります。口腔外科では抜歯等の外来処置に加え口腔がん、顎変形症、インプラントなどの手術や病棟管理まで実際に参加して学ぶことができます。さらには粘膜疾患や骨髄移植患者の口腔ケアといった口腔内科においても深く学ぶことができ、他にも周術期

口腔管理やがん患者さんの口腔機能ケア、当直対応も積極的に経験できます。また、カンファレンスも充実しており、学会発表などアカデミックな面における研修内容も充実しています。

当院の歯科・口腔外科学教室の最大の特徴は各専門分野において指導医や専門医が在籍しており、ハイレベルな歯科医療を間近で学ぶことができます。加えて先生方や先輩は優しく熱心で非常にアットホームな雰囲気であるため、いつでも質問や相談ができる贅沢な環境が整っています。

ぜひ当院でしか経験できない研修生活を共に過ごし、働き、学べることを心待ちにしています。



2024年度
歯科・口腔外科プログラム
岡田 樹人
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from PROGRAM STAFF

歯科と口腔外科をバランスよく研修できる充実したプログラムです

2年間慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。歯科分野と口腔外科分野のどちらにも充実した専任のインストラクターがあり、歯科分野では指導医の資格を持つ歯周病専門医、補綴専門医、顎関節専門医が高いレベルでの研修を行います。口腔外科においても指導医の資格を持つ口腔外科専門医から、基本的な手技から専門的な治療までを学ぶことができます。口腔外科では、外来だけでなく、病棟での周術期管理も研修します。研修2年目では、歯科、口腔外科のローテーション

に加え、麻酔科研修を行い全身管理についての理解を深めていきます。毎週、各分野のカンファレンスがあり、業務としてのみならず、知識としても身につくと確信しています。このように、他の施設にはないオンリーワンの魅力を活かして、有益な研修生活を送ってほしいと願っています。そして、研修医のあとも、継続して専修医として臨床を究めようとする道、大学院生として臨床の疑問を研究で明らかにしようとする道など、いろいろな可能性を用意して皆さんをお待ちしています。



歯科・口腔外科 教授
中川 種昭



当科では歯科と口腔外科をバランス良く研修することができるように、「オンリーワン」のプログラムをモットーに皆さんをお待ちしております。

歯科・口腔外科研修医募集要項

- 募集人数** 9名
- 待遇** ・給与(年額)約265万円(当直料別) ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入
・宿舎有り(全32部屋(原則、抽選により決定)、費用は月額22,000円～61,200円、医科および歯科で共有)(2025年3月現在)
- 選考内容** 筆記試験(歯科、口腔外科全般から出題)、英文読解、面接
- 選考日** 1次 2025年7月19日(土) 9:00-12:00
2次 2025年7月19日(土) 13:00-17:00、2025年7月26日(土)終日(予定)
- 募集期間** 2025年5月12日(月)～7月10日(木) ※最終日は17時締切
- 応募資格** ・大学歯学部または歯科大学を2026年3月に卒業予定の者
・歯科医師臨床研修マッチングに参加する者
・CBT共用試験の結果を有する者
・以前に外来見学あるいは説明会に参加したことが無い方は研修医担当主任にE-mailにて連絡をすること。
(歯科・口腔外科研修医担当主任 角田 和之 E-mail:keiodentkensyu@gmail.com)
- 応募書類** 「基本情報」「補足事項」「成績証明書(写)」「卒業見込証明書(写)」「応募者を良く知る者からの推薦書」「CBT共用試験の結果(スコア)(写)」
- 問い合わせ先** 慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp

※最新情報は、卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/dentist.html>

